



♥もしも、ドラえもんがいるのなら

大 口 真裕美

もしも、ドラえもんがいたら、私は「タイム＝マシーン」に乗って2年前の春に戻り、いま仲良しの友達とまた出会い、楽しい2年間を過ごすのです。菅平ゼミに行き、学海祭で盛り上がり、一日一日を楽しく過ごすのです。それから、せっかく戻ったのなら、機会がなく話すことができなかつた人、挨拶程度に終わってしまった人などと仲良くなりたい。そして、もちろん私は日本語教育研究会に入り、日本の保育園に通う外国から来た子どもや日本語教育に関するさまざまな事について研究するのです。

こんな事を考えてしまうほど、私の短大での2年間は忘れられないものとなりました。

（おおくち まゆみ／幼児教育科2年）

♥チャレンジ精神を忘れずに

野 口 鏡 子

短大入学以来、私は多くのことにチャレンジしました。初めての一人暮らし、友だちづくり、テニス部での大会出場（EPSONカップ）など、2年間で満喫しました。そして、この日本語教育研究会では、毎年訪れる中国からの留学生と交流したり、日本の保育園に通う外国の子どもたちについて話し合うことができました。

短かった2年間でしたが、いろいろな事を学び、自分という人間に磨きがかかりました。

これから目指していた保母になるわけですが、失敗を恐れず、どんなことにも積極的にチャレンジしていきたいです。たった一度の人生なのだから……。

（のぐち きょうこ／幼児教育科2年）

♥保育者となる意気込み

梅 林 美 紀

幼児教育に携わる仕事がしたいと思い、上田女子短期大学の幼児教育科に入学して、はや2年が過ぎました。この2年間、たくさんの事を教わり、また体験していくたびに、立派な保育者になりたいという思いが強くなっていきました。まだわからない事も多く、不安を感じることもあります。意欲と努力と笑顔をもって、頑張っていきたいと思います。

日本語教育研究会では、幼児の言葉や、幼稚園・保育園での外国から来た子どもたちの受け入れなどについて研究しました。この活動を通して学んだ事を、大いに役立て、外国人の親子が来園したときには、安心して子どもを預けてもらえるように、親身に積極的に接していきたいと思っています。応援してください。

（うめばやし みき／幼児教育科2年）